



NPO 法人 つくば環境フォーラム

令和4年度活動報告

特定非営利活動法人（NPO 法人）「つくば環境フォーラム」は、つくば周辺地域の環境をよりよい形で未来世代に引き継ぐことを目的に、地域の環境の調査・研究・保全事業、環境教育事業、連携促進、情報の収集・発信、環境に配慮したまちづくりへの提言活動等を展開しています。令和4年度は以下の活動を行いました。

1. 環境の調査・研究・保全事業

1-1. オオムラサキの棲む里山づくり

平成 14 年より、良好な里山の象徴としての国蝶オオムラサキが棲み続けられるよう、つくば市下平塚にて雑木林の保全・再生事業を展開しています。TX 沿線開発後に新たにできた市街地に隣接して、民有林と県有地合わせて約 24ha の里山の自然が残っています。民有林での活動を自主事業として、県有地での活動を茨城県からの委託事業として取り組んでいます。オオムラサキをはじめとする生物の多様性が保たれる里山の手入れを行い、自然資源として活用するとともに、身近な自然とふれあう場として、保全活動・体験活動を行いました。

・森づくりボランティア

民有林では平成 15 年より森づくりボランティアを継続しています。8月～12月に筑波学院大の学生インターンが参加しました。13 回実施、のべ 118 名が参加。活動開始より通算 189 回の活動となりました。

・里山こどもワンダーランド探検隊

親子の自然体験プログラムを 7/18 に開催。参加者 22 名。夏の昆虫観察を行いました。

・連携した活動

- ・ロケーションビレッジの住地区活動による森の手入れ（7/16 参加者 23 名）
- ・つくば薪クラブによる間伐（1/8 参加者 18 名、1/15 参加者 16 名）

参加者計 のべ197名

実施日	参加者数
4月2日	4名
4月16日	5名
7月18日	3名
8月11日	8名
8月20日	11名
10月15日	14名
10月29日	17名
11月5日	13名
11月19日	14名
12月10日	15名
1月21日	4名
2月18日	5名
3月4日	5名



1-2. 葛城大規模緑地利活用事業（茨城県委託事業）

市街地に隣接して残された葛城大規模緑地（県有地）14ha は、自然環境を保全しつつ利活用することをめざして官民協働で整備中の里山であり、を平成 27 年に設立された「葛城里山クラブ」の会員での活動を通して里山公園づくりを試みています。葛城里山クラブは令和 5 年 3 月時点で登録会員 712 名 2 団体となっています。本年度よりつくば環境フォーラムが（財）つくば都市交通センターから事務局業務を引き継いで担っています。事務局変更に伴いリーフレットの改訂、印刷を行いました。令和 4 年度の葛城里山クラブの活動は、新型コロナウイルス感染症防止対策をとって行いました。

会員が参加する企画として「里山散歩」を自由散策を基本として 12 回実施（のべ 315 名参加）しました。また、植樹地の手入れ活動「朝ボラ」を 6～9 月に 4 回計画して 3 回実施、雨で 1 回延期となったため昼ボラを 12 月に 1 回実施、計 4 回実施で 23 名が参加しました。



緑地の植物調査や保全活動を行う「植生ボランティア」を呼び掛け、令和 4 年度は 13 名が登録、12 回の活動を行いました。のべ 91 名とスタッフ 26 名が参加、調査、希少種保全などを行いました。

また、里山の環境維持管理活動は刈払い機やチェーンソーの講習を受けた「葛城フォレスター」とスタッフが有償で担い、草刈りや間伐作業を行いました。安全講習を 2 回、他地域での活動を視察する研修を雪入ふれあいの里公園及び三石森林公園にて 1 回実施しました。活動日合計 44 日、のべ 400 名の参加がありました。



参加者計 のべ 829 名

1-3. 筑波山麓谷津田再生事業

筑波山のふもと神郡にある自然豊かな谷津田を存続させるために始めた米づくりは、今年で 17 年目になりました。ホタルやホトケドジョウなど絶滅危惧種がみられ、サシバやサンコウチョウなどの夏鳥が子育てしています。0.8ha の谷津田と周辺の里山林とのつながりが、豊かな自然を育てています。今年度は田んぼボランティアに 23 名が登録、無農薬かつ肥料も周囲の森の落ち葉のみで米づくりを行いました。田んぼボランティアの皆さんの働きで、雑草を抑え、イノシシにも侵入されずに無事収穫を迎えることができました。冬季に周辺の森や藪の手入れ活動も行いました。

・谷津田の米づくり

- 田んぼボランティアに 23 名が登録し、年間約 50 日の活動を行いました。
- 28 名（48 口）の支援者の皆さんに資金の協力をいただきました。
- 野村不動産(株)、メタウォーター(株)に、企業オーナーとしてご支援をいただきました。
- 体験付きオーナーに 26 家族が登録、田植え、ホタル観察、稲刈、収穫祭を楽しみました。
- 田んぼボランティア活動日に田植え稲刈ホタル観察会収穫祭のイベントを実施し、オーナー家族や支援者の方計 277 名参加
- 4/11 富士電機(株)（法人会員） 新人研修 5 名参加
- 2/25「水源の森づくり」12 名参加。
（富士電機（株）社員 4 名参加）
- メタウォーター(株)労働組合は田植えイベント中止、稲刈に社員 4 名参加。
- 企業オーナーの野村不動産(株)の田植え・稲刈りイベントは新型コロナウイルス感染症のため中止。
- 日本フィランソロピー協会より、東京ガスグループ「森里海つなぐプロジェクト」の寄付として、すそみの田んぼでの活動に 50 万円の寄付をいただきました。

実施日	テーマ	参加者数
5月4日	田植え	60名
5月12日	田植え	8名
5月19日	田植え	6名
6月5日	ホタル観察会	22名
6月19日	ホタル観察会	25名
7月3日	ホタル観察会	31名
10月2日	稲刈り	5名
10月8日	稲刈り	5名
10月16日	稲刈り	6名
10月22日	稲刈り	57名
1月8日	収穫祭	56名



参加者計 のべ 589 名

1-4. その他の調査活動

「茨城県内ブナ調査」 （ミュージアムパーク茨城県自然博物館委託事業）

●ブナ、イヌブナ分布調査

- ①月居山・袋田の滝・生瀬富士 6/20 ②白木山 6/27 ③男体山/7/14 ④下君田・大北溪谷 7/25
 ⑤土岳 8/8 ⑥高鈴山 8/22 ⑦八溝山・盛金 9/15 ⑧和尚山・定波 9/26 ⑨加波山 10/11
 ⑩筑波山・弁天岩 10/24

●筑波山の刈払い地の植生モニタリング調査

●筑波山におけるブナの結実調査

●筑波山カタクリの里周辺哺乳類実態調査

つくば環境フォーラムは事務局を担い、研究者、協力者の方々と調査を行いました。

2. 環境教育推進事業

2-1. 筑波山麓自然学校（つくば市委託事業）

平成 14 年度から筑波ふれあいの里の主催事業である筑波山麓自然学校の企画運営を担当しています。この事業は、参加者に筑波ふれあいの里を周知するとともに筑波山麓の自然を学び、里山保全への理解を深めることをめざしています。年間7回のイベントを実施、のべ参加者数は**166名**（申込総数 361 名）でした。

実施日	テーマ	参加者数
7月2日	沢の生きもの観察会	21名
7月27日	虫むし探検隊調査編	15名
8月24日	筑波山の自然と遊ぼう	18名
9月4日	虫むし探検隊 スケッチ編	23名
10月10日	真綿から繭玉をつくってみよう	55名
12月3日	しめ縄をつくってみよう	19名
12月17日	クリスマスクラフト	15名



2-2. つくば里山楽しみ隊 in 高崎自然の森（つくば市委託事業）

つくば市農業課に「高崎自然の森自然体験教室事業」の依頼を受け、平成21年度より高崎自然の森で「つくば里山楽しみ隊♪」を実施しています。里山の平地林の価値や、里山の自然の豊かさは人が手入れし利用することで保たれたことを伝えています。3回実施、参加者のべ52名でした。

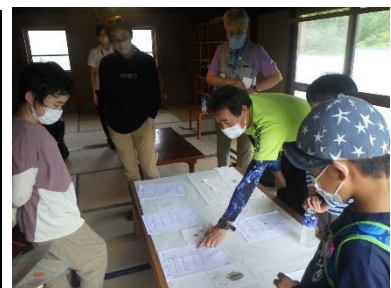
実施日	テーマ	参加者数
8月4日	第1回：生き物調査とスケッチ（小中学生対象）	13名
8月17日	第2回：調査マップ作り（小中学生対象）	8名
11月27日	第3回：森の手入れ体験とネイチャービンゴ（親子対象）	31名



2-3. 筑波山自然環境教育事業（つくば市委託事業）

つくば市環境政策課が主催する市内の自然環境を学ぶ講座の企画・運営の委託を受け、今年度は子どもたち中心の生きもの調査活動を市内2カ所の里山で計画しました。第1回目はすそみの田んぼで小学3年生以上親子対象で田んぼと沢の生物調査を行い、捕まえた生きものを六所地区のかやぶき小屋で観察・スケッチし生きものの仲間わけ、棲みか、生きもの同士のつながりを学びました。第2回目は葛城大規模緑地で夕方に昆虫調査、夜に鳴く虫の観察を予定しましたが当日予備日とともに雨で中止となり、代替の企画を筑波ふれあいの里で11月に実施しました。

実施日	テーマ	実施場所	参加者数
7月16日 (土)	谷津田の生き物調査	筑波山麓「すそみの田んぼ」	10名
9月23日 (金祝) 予備日24日 (土)	つくばの里山（平地林）	葛城大規模緑地	両日とも 雨天のため 中止
11月20日 (日)	筑波山麓の里山散策と木の葉のスケッチを通しての環境学習	筑波ふれあいの里	4名



2-4. その他の環境教育推進事業

- ・筑波大学大学院自然保護寄附講座よりインターンシップの受け入れ 留学生2名
- ・筑波山自然観察ハンドブックの販売/里山学習ハンドブックの配布

3. 連携促進事業

- 筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会との連携

筑波山麓で活動する個人や団体が連携して、豊かな地域資源や人材を活かした都市と農村の交流をめざし結成された筑波山麓グリーンツーリズム推進協議会（GT 協議会）に参加しています。

- 野村不動産㈱にすみの田んぼ支援の御礼のお米をお送りしました。。
- 筑波山麓自然学校にて、2 回のイベントを GT 協議会と協働で開催しました。

- 筑波大学大学院自然保護寄附講座里山実習 10/18、11/15、12/13 大学院生 10 名

- その他、他団体との連携

環境 NGO・NPO の全国ネットワークである「グリーン連合」、蝶にかかわる自然環境の保全を進める「日本チョウ類保全協会」、持続可能な開発のための教育の推進を目指す「ESD-J」に会員として参加しました。

4. 情報収集・発信事業

- ホームページ・ブログ・フェイスブック

① つくば環境フォーラムのホームページと facebook で活動の紹介やイベントのお知らせをしています。

② 葛城大規模緑地利活用事業については、ブログ「葛城の森から」による発信を通年行っています。

2022 年度は 36 回のブログ発信を行いました。

(つくば環境フォーラム facebook でブログの投稿をお知らせしています。)

- つくば市環境フェスティバルへの参加協力

5. 環境に配慮したまちづくりの研究・提言事業

- 高崎自然の森の環境管理に関する提言
- つくば市生物多様性つくば戦略への参加、協力
- NACS-J 呼びかけによるつくば市で活動する環境保全 NPO3 団体連携への参加

2022 年度会員数：104（正会員 18 準会員 77 賛助会員 6 特別賛助会員 3）
